

## 肝胆膵手術閉創時における真皮縫合の有用性の検討に関する研究

### 1. 研究の対象

2011年から2014年までに国立がん研究センター東病院肝胆膵外科で肝胆膵外科領域の手術が行われた方

### 2. 研究目的・方法

手術部位感染(Surgical Site Infection; SSI)は外科手術後の合併症として非常に重要なものであり、SSIの改善が患者さんの術後の生活の質をさらに高めることができると考えられています。その中でも、手術創SSIの発生リスクを下げる可能性がある閉創法の手技として真皮縫合というものが近年注目され、各外科領域において真皮縫合と従来のステイプラー法との比較がされています。一方で肝胆膵外科領域においては未だ両方法の比較が十分とはいえ、どちらの方法がSSI発生リスク軽減にとって良い方法なのか不明瞭といえます。今回、それらの方法を含め、創部のSSIの発生に手術のどのような因子が影響をおよぼしているかを検討することで、今後のSSI発生軽減に寄与することができ、今後肝胆膵外科領域で治療を受ける多くの患者さんに役立つ情報であると考えています。

研究実施期間：2019年3月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：生年月日、病歴、手術内容、術後合併症の有無、創部閉鎖法の種類、カルテ番号 等

### 4. 試料・情報の公表

本試験終了後、研究者はその成果をまとめ、学会または論文にて発表します。また、国立がん研究センターの公式ホームページにおいて研究概要の公開を行います。公開する事項は、当該研究の意義、目的、方法、研究機関名、問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先に関する情報とします。

### 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

国立がん研究センター東病院 肝胆膵外科 大久保 悟志

TEL 04-7133-1111 / FAX 04-7131-4724

研究責任者：

国立がん研究センター東病院 肝胆膵外科 小西 大

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

TEL:04-7133-1111 (内線 91648)

Fax:04-7134-6917

E-mail:[mkonishi@east.ncc.go.jp](mailto:mkonishi@east.ncc.go.jp)